

プロフィール



東京エレクトロン及び東京エレクトロングループ(当社もしくは東京エレクトロン)は、1963年の設立以来、半導体製造装置の世界におけるリーディングサプライヤーとして、コータ/デベロッパ、プラズマエッチング装置、熱処理成膜装置、枚葉成膜装置、洗浄装置、ウェーハプローバなど、幅広い製品分野の開発・製造・販売を行っています。

また、半導体製造装置の分野で蓄積した専門技術を生かして、フラット・パネル・ディスプレイ (FPD) 製造用のコータ/デベロッパ及びエッチング/アッシング装置の開発・製造・販売も行っています。これらの半導体製造装置及びFPD製造装置の多くは、世界のリーディングシェアを獲得しています。

さらに、世界の優れた半導体製造装置、ブロードバンドに対応したSAN (Storage Area Network) 関連製品、インターネットテクノロジー関連製品、電子部品などを日本国内で販売する専門商社としても確固たる地位を築いています。

東京エレクトロンは、アメリカ、ヨーロッパ、アジア12カ国に広がるグローバル拠点網を通じ、優れた製品とサービスをお客さまに提供するとともに、株主価値の最大化に取り組んでいます。

ALWAYS LOOKING AHEAD TO NEW GROWTH

目次

- 01 歴史&展望
- 02 会長メッセージ
- 04 社長メッセージ
- 06 本質的な強みを活かす
- 08 強い財務基盤の確立
- 10 成長を支える技術投資
- 12 東京エレクトロンの概要(事業別)
- 14 東京エレクトロンの概要(地域別)
- 15 知的財産報告書
- 16 環境・健康・安全に対する取り組み
- 18 コーポレート・ガバナンス
- 19 取締役・監査役及び執行役員

- 財務セクション
- 20 財務概況
- 27 6年間の主要財務データ
- 28 財務諸表

- 42 TELグローバルネットワーク
- 43 株主メモ

将来見通しに関する注意事項

このアナニュアルレポートで述べられている東京エレクトロンの将来の業績予測、経営戦略、確信などは、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の判断に基づくものであり、これらの将来見通しの記述には、既知または未知のリスク、及び不確実性などの要因が内在しています。従いまして、実際の業績、成果はここに述べられている見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おください。

東京エレクトロンの将来見通しに直接的・間接的に影響を与える要因としては次のようなものがあります。

- 国内外の経済情勢、消費動向、為替相場の大幅な変動
 - 半導体、FPD 市況の変化
 - 半導体メーカー、FPD メーカー、電子機器メーカーなどの東京エレクトロンの顧客が生産または提供する製品とサービスに対する需要の変化
 - 急速な技術革新、変化する顧客ニーズにタイムリーに対応する製品やサービスを東京エレクトロンが継続的に開発し提供している能力
- ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

歴史&展望

